

交通事故概況等について

道環境生活部くらし安全推進課
平成22年7月14日

◎ 交通死亡事故発生状況

1 (総合)振興局別交通死亡事故発生状況

(1) 平成22年中の発生状況(7月13日現在)

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	13	20	7	7	0	4	0	5	0	1	13	12	5	1	88
前年比	-2	+2	+1	+2	-6	-3	-3	±0	-3	0	+10	+4	±0	-1	+1

(2) 平成22年7月中の発生状況(7/1~7/13)

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	1	5									1				7
前年比	-5	+3	-2							-1	+1	-1			-5

2 月別死者数(6月末現在)

年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	6月末	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成22年	10	16	18	10	12	15	81							81
平成21年	12	7	11	16	15	14	75	28	22	22	27	22	22	218
平成20年	11	11	10	14	15	27	88	21	24	22	21	25	27	228

3 主要都府県の交通事故死者数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平成22年 (7/13) 現在	東京 109 (+9)	愛知 105 (-12)	神奈川 94 (+10)	埼玉 94 (-17)	兵庫 93 (+14)	茨城 93 (-20)	大阪 91 (-18)	千葉 90 (-3)	北海道 88 (+1)	福岡 86 (-5)

4 過去5か年の夏の交通安全運動期間中(7/16~7/25)の交通事故死者数

死者数/年	17年	18年	19年	20年	21年	合計	平均
死者数	8	5	9	9	9	40	8.0

(担当:交通安全対策グループ 主幹 橋本 二三夫 Tel. 011-204-5219)

平成22年

夏の交通安全運動

7月16日(金)～7月25日(日) 北海道実施要綱



運動の 重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 二輪車・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用
- 交差点の交通事故防止

全道統一行動日／7月16日(金) セーフティーコール

主催

北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、市町村、(社)北海道交通安全推進委員会、(財)北海道交通安全協会、(社)北海道安全運転管理者協会

ストップ・ザ・交通事故死

《めざせ 安全で安心な北海道》



運動の目的

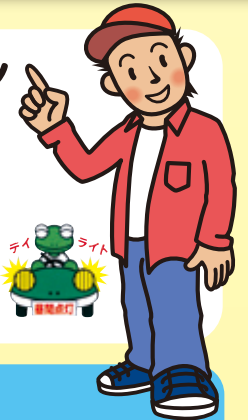
交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

道、道警、市町村、関係機関・団体等は、緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を推進する。

通年運動 5大キャンペーン

- 高齢者事故防止・夜光反射材普及運動
- 交差点事故・自転車事故防止運動
- スピードダウン運動
- シートベルト着用向上・デイ・ライト運動
- 飲酒運転根絶運動



運動の重点

子どもと高齢者の交通事故防止

運転者は

子どもや高齢者を見かけたら、徐行するなど思いやりのある運転をしよう。

家庭では

子どもと一緒に通学路等を歩くなどして、交通ルールの手本を示し、マナーを身につけさせよう。

学校等では

登下校時間帯に通学路での交通安全指導を徹底しよう。

職場では

職場ぐるみで、子どもと高齢者を守るという意識を高めよう。

地域では

交差点などで、子どもや高齢者を見かけたら声をかけ、安全な横断を手助けしよう。

二輪車・自転車乗用中の交通事故防止

運転者は

交差点では、左折時の巻き込みや右折時の直進してくる二輪車に注意するとともに、横断歩道を渡る自転車に注意しよう。

二輪車・自転車利用者は

二輪車に乗るときは、二輪車の特性をしっかりと認識して運転しよう。
自転車に乗るときは、車道では車の動きに注意して、歩道では歩行者優先を守り、思いやりのある運転をしよう。

家庭では

二輪車のライト点灯等、交通事故防止について話し合いをしよう。
自転車に子どもを乗せるときは、ヘルメットを着用させよう。

学校等では

二輪車の存在をはっきり示すため、日中のライト点灯実践の指導を徹底しよう。
自転車の安全利用五則の指導を徹底しよう。

地域では

二輪車の安全な乗り方について街頭啓発等を実施するとともに、自転車の危険な乗り方を見かけたら注意しよう。

全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

運転者は

全ての座席の同乗者全員に、シートベルトとチャイルドシートを正しく着用させよう。

家庭では

出かけるときは、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しているか、みんなで確かめよう。

学校等では

全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の必要性について理解させ、実践させよう。

職場では

職場ぐるみで、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用100%を徹底しよう。

地域では

シートベルトとチャイルドシートの着用効果について啓発しよう。

交差点の交通事故防止

運転者は

交差点やその付近は、事故多発地帯であることを認識し、特に注意して運転しよう。

家庭では

交差点などにおける安全な歩行や走行について、家族みんなで話し合おう。

学校等では

交差点などにおける交通事故が多いことを認識させ、特に注意して歩行・横断するよう指導しよう。

職場では

交差点やその周辺を走行するときは、特に注意して走行するよう指導しよう。

地域では

交差点やその周辺において交通事故防止を呼び掛ける街頭啓発を実施しよう。

居眠り運転防止 ～ 運転2時間毎に休憩しよう。